

三重大学広報誌

三重大 X

えっくす

vol. 35
2016 WINTER

M I E U N I V E R S I T Y X



文部科学省
地(知)の拠点



ホットニュース

地方創生

特集:「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 (COC+)」に採択されました!

特別対談:三重県知事 鈴木英敬 × 三重大学長 駒田美弘
三重大学・三重県が一体となった地方創生を目指す



特集

輝くOB・OG 第7弾

特集

新しい教養教育がスタート!

速報

文部科学省等支援プログラム

気になるNEWS

スポット/クラブ・サークル

本の紹介

表彰

お知らせ

歴史街道シリーズ



三重大学ホームページ
からアイコンをクリック!



「@MieUniversity」
で検索!



「mieuniversityweb」
と検索!

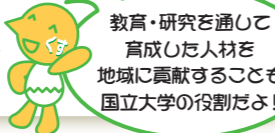
「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に採択されました!



COC+とは?



国立大学が地方の自治体や企業と協働し、地方の雇用創出と就職率向上を目指す!!

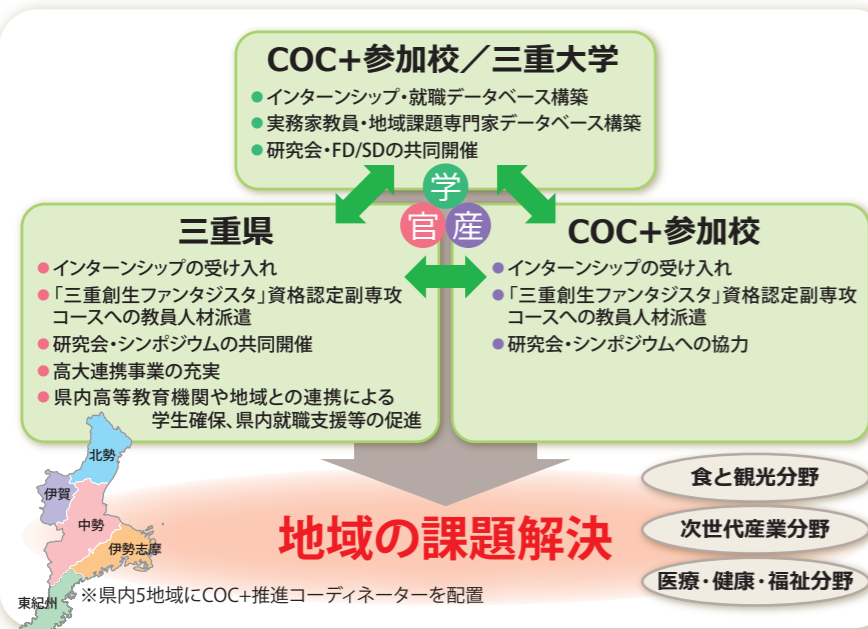


現在、急激な少子高齢化や人口減少、特に若者人口の減少が大きな問題となっています。さらに若者人口の県外流出により、県内地域の過疎化、経済規模の縮小が懸念されています。

このたび、三重大学は文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に採択されました。採択された各国立大学は地域社会の中心となり、各地域が抱える問題の解決に取り組めます。

今回の特集では、三重大学のCOC+事業における事業内容と、今後の意気込みを紹介します。

◎地域人材の育成で地方創生を目指す!



三重大学の卒業生の県内就職率は33%程度に留まっています。三重大学を卒業した人材にもっと三重県で活躍してもらうためには、三重県の特徴や問題を把握し、何より三重県を愛する地域に根ざした人材の育成が必要です。

しかし、地域の雇用創出と、就職率の向上を実現するためには、三重大学だけの取り組みでは不十分です。地元企業や自治体、教育機関など、三重県内の全てのCOC+参画機関が力を合わせ、「地方創生」に向けて取り組むことが重要です。



◎三重創生ファンタジスタとは!?

「三重創生ファンタジスタ」資格認定副専攻コース

地方創生のエンジンとして活躍

三重創生ファンタジスタ

- 食と観光分野
- 次世代産業分野
- 医療・健康・福祉分野

3つの科目群から12単位以上修得

1~2年次	2~3年次	3~4年次
地域志向科目群 (必修・選択必修) 4単位以上 <ul style="list-style-type: none"> 三重県の自然・地理・歴史・文化・産業・教育・医療の実態について学び直す 講義形式中心(ゲストスピーカーの招聘) 創造力・問題発見・探究力・郷土愛 「スタートアップ・セミナー」(全学必修科目) 	地域実践交流科目群 (選択) 2単位以上 <ul style="list-style-type: none"> 地域に入り、地域の活動に参画することを通して、現状や課題を体験的に理解する PBLセミナー、熟議・討論型授業、インターンシップ、実習(現地・現場) コミュニケーション力、実践・行動力、情報収集・分析力、理解・判断力 	地域イノベーション学科目群 (選択) 2単位以上 <ul style="list-style-type: none"> 地域の人と協働しながら、地域や産業の活性化・再生にむけたプロジェクトや共同研究を組織し、アイデアやプランを提案する プロジェクト、共同研究、プレゼンテーション 柔軟な発想・構想力、複眼的・俯瞰的な思考、企画・計画力、リーダーシップ



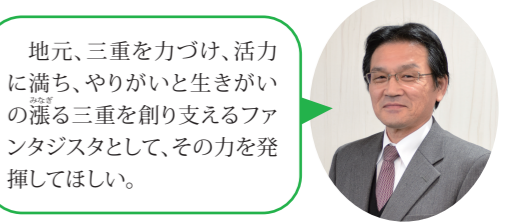
三重大学長 駒田 美弘

三重大学は、地域イノベーション大学として、地方創生、地域の活性化に取り組んでいます。その戦略として、

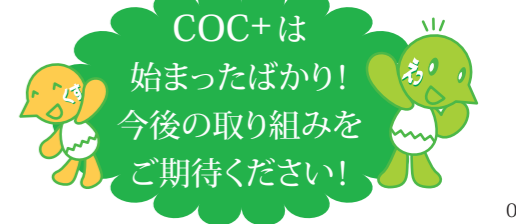
- ① 地域人材の育成と若者を地域に止め置く機能
- ② 研究成果を地域に還元する機能と地域の様々な主体となるハブ機能
- ③ 地域の力の発信する機能

を強化していきます。この3つの機能強化の中で、「地域人材の育成と若者を地域に止め置く機能の強化」は、まさに「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)」の目的でもあります。今回のCOC+事業計画の策定には、三重県、県内の29市町、県内高等教育機関、および企業の皆様方に全面的にご協力をいただきましたし、今後の事業実施においてもしっかりと協働して取り組んでいく予定です。鈴木英敬三重県知事、および県内29市町の首長様には直接お会いして、COC+事業を含む三重大学の機能強化構想にご協力いただくことをお願いしました。と同時に、地方創生における三重大学の責務がいかに重いものであるかも痛感しました。三重大学は、「三重県における地方創生の地(知)の拠点」として、不退転の決意を持って、本事業に取り組みたいです。

「ファンタジスタ」には、「地域創生のエンジン」として、状況や事態を的確に把握し、複眼的な視点から、柔軟で想像力と創造力に富んだ発想や思考ができ、行動力とリーダーシップを発揮しながら、周りの人と協働できる人」という思いが託されています。新たにスタートする「三重創生ファンタジスタ」資格認定副専攻コースは、「地域志向科目群」・「地域実践交流科目群」・「地域イノベーション」学科目群の3つのステージと、「食と観光」・「次世代産業」・「医療・健康・福祉」の3つの分野で構成されています。それぞれのステージと授業は、教室で完結する教育や学修ではなく、「知る」(三重県や地元を再発見し再認識する)―「学ぶ」(自らの体験・経験をを通してリアルな今を学ぶ)―「考える」(知識や経験を再構成し、自らのプランやアイデアを提言・発信する)という体系として構成するカリキュラムであり、理論と現場実践の往還として展開するプログラムです。地域イノベーションのリーダーとして、一つの事柄、自分の専門を多様な視点からとらえていく力を身につけて欲しい。そのため、必要に応じて他学部で開設されている授業が履修できるような学部横断的な学修の広がりを持つカリキュラムとして整備していく予定でもあります。



三重大学理事(教育担当)・副学長 山本 俊彦



三重大学・三重県が一体となった地方創生を目指す



2015年10月14日(水)、三重大学三翠会館にて、駒田美弘 三重大学長と鈴木英敬 三重県知事の対談を実施しました。「地方創生」をテーマに、三重大学へ期待する役割や双方の協力姿勢について話し合いました。対談の全内容は三重大学ホームページからご覧いただけます。

(<http://www.mie-u.ac.jp/topics/kohoblog/2015/11/post-1166.html>)



三重大学に求められる役割として、

- ・経済の主体
- ・地域のハブ(中心となる)機能
- ・人づくり

の3つがあると思います。三重大学がもたらす経済効果は直接効果で305億円、間接効果で428億円にのぼります。さらに2,000人近くの教職員が働いておられ、地域の雇用を生み出す場としても機能しています。

県・市町とも、医療支援や共同研究等、多くの点で連携しておられます。特に2014年4月からスタートした「三重県・三重大学みえ防災・減災センター」は他県にも影響を与えるほどのインパクトがありました。三重大学の地域貢献の活動を、これからもさらに発展させていくことをお願いしたいと思います。

人づくりに関しては、三重大学の卒業生は、県内どこに就職してもリーダーシップを発揮する役割になるでしょう。そんなときに大切なことは「自覚」ではないかと思っています。県庁でも、企業でも、大学でも、自分はその場所・立場で頑張らねばならない人間であることを自己肯定しながら自覚することが、ものすごく大事だと思っています。

今後パワーアップしてほしいことは、

- ・教員の養成
- ・スポーツ人材の育成

ですね。教育に関する県民の皆様の危機感は非常に強い。三重県の教員養成の核は三重大学です。時代の潮流、子どもたちのニーズ・多様性に合わせた教員養成機関、教育研究の場であることが望まれます。

スポーツ人材の育成もお願いしたい。三重県では2018年にインターハイが開催されます。東京オリンピック・パラリンピックの2020年には、さらに全国中学校体育大会が、その翌年には国体と全国障害者スポーツ大会が行われます。そのなかで三重県の選手が活躍してくれたら嬉しいですね。障がい者スポーツも含めて、選手・指導者・研究者など、スポーツの人材育成に取り組んでいただけたらなと思います。

最後に、私がいつも言っている「3つのone」の話。それはナンバーワン、オンリーワン、ファーストワン、何かを始めるのなら1番か、唯一か、初めてかを目指したい。三重大学には、ぜひ「3つのone」を実現していただきたいと思っています。一緒に頑張っていきましょう!

三重県知事 鈴木 英敬



三重の文化、海女や忍者などを
学問・研究を通して発信して
ほしいですね。

地(知)の拠点として
「目指すは世界、
それを実践するのは地域」
という関係で三重県内の皆様と
発展していきたい。

COC+にもつながることで、
三重県のこと
好きで好きでたまらない学生が
増えてくれるといいですね。



三重大学と三重県は二人 三脚で頑張っていきます!



体力、行動力、発想力、
逆境への強さ…
三重大生の理想像は、
鈴木知事だと思っています。



「これではいけない」三重大学の学長に就任し、学則(大学の憲法のようなもの)を見たとき、そう思いました。「地域貢献」という言葉がどこにもなかったわけですから。そこで、学則の中に「地域の諸特性に応じた福祉と文化の進展に寄与する」という文言を入れることにしました。自ら地域貢献の義務を負うことで、不退転の決意で地域貢献に取り組んでいきたいと思っています。そのために3つの戦略を立てました。

1. 「地域人材の育成と若者を地域に留め置く機能の強化」
三重大学には7,200人もの若者がいますが、そのうち33%しか県内に残りません。そこで、学生の県内就職率を43%に引き上げる目標を掲げました。三重大学の学生が卒業した後も県に残ってくれるなら、地方創の大きなパワーになってくれるのではと思います。これを実現するには学生の受け入れ先の確保等、企業側にもご理解・ご協力をいただくため、今後足を運んで説明に伺おうと思います。

そして、高校卒業時点での学力だけで入学生を絞るのではなく、磨けば光る若者が4つの力*を習得し、文系・理系の枠を超えた教養を身につけた人材として大学を旅立ち、社会の中でリーダーシップを発揮してほしいと思います。

2. 「研究成果を地域に還元する機能と、地域の様々な主体のハブとなる機能の強化」
鈴木知事もよくご存知のとおり、三重県は東西南北とても広い。地域それぞれの事情や特色を生かした教育・研究活動や中小企業との共同研究を実施するため、三重大学のサテライトを設置したいと考えています。

市内29市町を全て回り、教育格差についての実情を調べてまいりましたが、地域間・学校間で大きな差があるように思えました。一律同じ支援をするのではなく、それぞれの市町の特徴に合った貢献をしていきたいですね。

3. 「地域力の発信機能の強化」
三重大学の地域の特色ある研究分野や、これまでの研究実績を全国・世界へ発信していきます。世界に通用する研究も多くありますが、自分の地域を常に意識しなければいけないと思います。

子どもたちが夢を実現できる、そんな三重県にしていくために三重大学も力を尽くします!

三重大学長 駒田 美弘

*4つの力: 三重大学が定めた教育目標である「感じる力」、「考える力」、「コミュニケーション力」、それらを総合した「生きる力」のこと

特集

輝くOB・OG 第7弾

これまで三重大学という学舎で育った卒業生は約72,415名、社会の様々な分野で活躍中です。

取材に協力いただいたOGのみなさんへ



日本の「カッコいい」よ、世界へ届け!

File. 28



迷ったらやる! 学生時代

学生時代は個人で活動し、地域のイベント企画、運営、司会進行、調査活動に取り組んでいました。活動をすればするほど様々な人と出会い、自分の世界がどんどん広がっていくように感じました。「めんどくさい」と思わず積極的に行動して、たくさんの人とのつながりができたことが、学生時代の一番の財産だと感じています。

人文学部では社会学を専攻し、地域の活性化について研究していました。調査の一環で地元の人々や文化と触れ合い、「地元の良さを活用して面白いことがしたい」と思い、地元の役場へ入庁を決めました。

現在は経済産業省で「クールジャパン*政策」を担当しています。日本の伝統工芸や文化・食品を海外へ紹介したり、優れた技術を持つ中小企業の海外市場開拓のお手伝いをしています。海外に通用する日本のよいものを広め、手にとっていただいている、日本を好きになってもらう。そして日本商材の消費拡大や訪日者数の増加へつなげることが目標です。気をつけていることは、日本側が「いいでしょ?」と思うものと、海外側が「いいね!」と思うものは、必ずしも一致しないということです。いくら良いものでも、それが向こうの人々や文化に受け入れられるとは限りません。視野を広く持ち、世界の中での日本の立ち位置や、相手国の文化を理解して発信することを、常に意識しています。

地方から全国、そして世界

出会いを大切に何事も楽しむ!

仕事を

学生時代に培った人脈は、社会に出た後も思わぬところで生きてきます。仕事で初めてお会いした方が、学生時代の私をご存知だったこともあります(笑)。違う場所で違う仕事をしていても、人ってどこかでつながっていくものだと実感しました。皆さんもどんどん外に出て、色々なことにチャレンジしてください!

学生時代に培った人脈は、社会に出た後も思わぬところで生きてきます。仕事で初めてお会いした方が、学生時代の私をご存知だったこともあります(笑)。違う場所で違う仕事をしていても、人ってどこかでつながっていくものだと実感しました。皆さんもどんどん外に出て、色々なことにチャレンジしてください!

経済産業省
商務情報政策局
生活文化創造産業課
(クリエイティブ産業課)

西村
Nishimura, Sayaka
紗矢香

京都府生まれ。2010年人文学部文化学科を卒業。民間企業を経て2012年京丹波町役場入庁。2015年より経済産業省へ出向し現職。



経済産業省にて(東京都千代田区霞ヶ関)

「クールジャパン」とは、海外にも通用する日本の技術やサービス、伝統的な文化や工芸品のことだよ!
(クール:カッコいい)

趣味は音楽を聴くことで、大学生頃は軽音楽部でボーカルを担当していたんだって!

~学生へのメッセージ~

外に飛び出すべし!
自分にできることをどんどんして吸収して、世界を広げよう!

表現の可能性は無限大! 自由な工作で思いを表す

File. 29

三重大学教育学部附属小学校 教諭(図画工作)

猪
Ii, Taisuke
泰介

大分県竹田市生まれ。2002年三重大学教育学部卒業、三重県内の小学校教諭を経て、2014年より現職。

自由な材料から自由な作品をつくる工作が猪先生の目指す授業なんだ!



三重大学教育学部附属小学校第1図工室にて(三重県津市)



美術に囲まれた生活

大学では美術教育を学び、美術部にも所属していました。油絵の制作に励み、グループ展に出品したり大学祭のポスターに私のデザインが選ばれたり、美術にどっぷり浸った学生時代でした。大学で学んだことや私自身が実感した「つくることの楽しさ」を子どもたちに伝えたいと思いはじめ、教諭を目指しました。教育実習では指導案を何度も書き直し、授業内容や子どもへかける言葉の一語一句まで細かく指導が入りました。厳しいと思うこともありましたが、その経験が今でも役に立っていると実感しています。ですから、実習生にはめげずに頑張ってくださいね。

思いを表現すること

子どもたちには先生に言われたことをするのではなく、「自分がこうしたい」という思いをいかに楽しく表現するかを教えています。完成した作品を見ただけでは、作った子の思いがわかりにくいときもあるので、作品に込めた思いを言葉で表現することも必要です。しかし、まだ言葉の引き出しの少ない子どもが無理に言葉で表現すると、本来表現したいものとは違うものになってしまうことがあり、難しいところです。そこで、私は作品が出来上がるまでの経緯を重視し、子どもたちに、制作途中の作品と完成した作品の違いや作品のそれぞれの部分に込めた思いを説明してもらうなど、できるだけ思いを表現しやすい授業を心がけています。

表現力を高める

図工の最終目的の一つは、美しいものを心から美しいと感じる感性を育てることだと思います。子どもの頃に培った表現力は感性を豊かにします。子どもがもつ発想力を活かすために、制作手順を細かく指定せず、木材と釘、大量の色画用紙で自由に好きなものをつくる授業などもしています。限られた材料のなかからでも本当にたくさんの作品が出来上がります。どんな材料からでも作品を制作できる力は、表現したい思いをより具体的に、より良く表す力につながります。身近にあるどんなものでも、表現の可能性は無限大です。それを子どもたちに気づいて欲しいと思っています。

~学生へのメッセージ~

今のうちに色々吸収して、やりたいことにもっとどっぷり浸ってください! 辛い時間もいずれ役に立ったと思う日が来ます。

★守っていく、つないでいく 東紀州の生命線

File. 30



怒られ学んだ学生時代

僕のいた病理学教室では、病院で亡くなられた患者さんを病理解剖して所見をレポートにして提出するんですが、当時の教授の武田進先生からは厳しくも熱心な指導を受けました。100人分のレポート

にすべて手書きでコメントを書かれるんです。赤字でいっぱい直されるんですが、「お前なんか二度と来るな」と書かれたこともあります。それでもめげずに行くところとちゃんと教えてくれる。今は自分が指導する立場にありますが、同じように教育にエネルギーを注ぐのはなかなか難しいと感じています。

「ありがとう」の重み

昭和63年に卒業して、三重大病院の第1外科に入局しました。先輩医師が受け持っていた食道がんの患者さんが、痰を詰まらせて息が止まり、人工呼吸器をずっとつけていました。容態が回復して、やっと抜くという時に僕もちょうど立ち合ったんですが、患者さんの第一声が「先生、ありがとう」。その言葉から、先輩医師がつきっきりで診ていて、患者さんもそれを分かっていたんだという気がしたんです。その頃、僕は働きはじめたばかりで、何がなんだかかわからなくてという状況だったけど、その場面はとても鮮明に覚えています。

この地域に必要な医療を

東紀州^{*1}は老老介護や独居老人が多い。つぶさに様子を見てあげる人が周りにいないので、具合が悪いと思ったら、救急外来にかかります。たとえ診察して何もなかったとしても、「心配ないよ、良かったね」と患者さんには言ってあげたい。ただ、職員も医師も疲れてしまわないように、三重大病院や地元病院などと上手に連携していくのが、この地域に根ざした医療だと思っています。今、国は団塊世代が後期高齢者に突入する2025年に向けて、医療整備の改革を検討しています。人口の流出が激しい東紀州は、病院の規模を小さくして回復期^{*2}の医療に集中し、急性期^{*3}の医療は松阪や伊勢に任せる案も出ています。でも、緊急時に90歳のおじいちゃんが85歳のおばあちゃんを車に乗せて80キロ離れた伊勢まで行けますか?せめて10年先は今の東紀州の医療の質を守っていく構想を模索しています。

*1……三重県南部に位置し、紀北町・尾鷲市・熊野市・御浜町・紀宝町からなるエリア。
*2・3…比較的症状が安定して回復に向かう段階(回復期)、緊急度が高く、様々な症状が現れる段階(急性期)。

加藤 弘幸
Kato, Hiroyuki
尾鷲市立尾鷲総合病院 院長

愛知県名古屋市生まれ。1988年医学部を卒業し、三重大学医学部附属病院、桑名市山本病院(現 桑名東医療センター)、済生会松阪総合病院、紀南病院等を経て、2004年1月から市立尾鷲総合病院へ赴任、2011年4月から院長。



自然いっぱいの尾鷲を愛車でドライブするのが好きなんだって

尾鷲港にて(三重県尾鷲市)

～学生へのメッセージ～
よく学び、よく遊べ。学びだけでもいいかんし、遊びだけでもいいかん。学生のうちに、色々な社会勉強をしてみてもいいかな。

★ITS^{*}開発の第一線 コードを奏でるエンジニア

File. 31

※ITS(=Intelligent Transport Systems/ 高度道路交通システム…人、車両、道路を情報通信技術で結び、交通問題を解消するシステム)

ITSの世界へ

学生時代はクラブ活動に一生懸命で、管弦楽団に所属していました。そのとき弾いていたチェロは今も続いています。もちろん勉強も疎かにはせず、研究室では車車間通信[※]をテーマに研究していました。そこで多くのITS研究に触れて、この業界で働きたいと感じるようになったのが入社のおかげです。入社時も大学での経験が土台となって、スムーズに仕事に馴染めたように感じています。入社後からは10年ほど、カーナビのソフトウェア開発を行っていましたが、その中にはみなさん良くご存知の高級車に採用されているものも少なくありません。

※自動車間で無線通信を行い、互いに位置や速度情報等を交換し、運転支援を行うもの。

過去にないものを、今あるものへ

そういった最上位モデルに採用されるものには、過去にない新しいコンセプトを求められることが多くあります。例えば、以前にカーナビを2画面で操作したいという依頼がありました。ただ画面を分割して表示するのではなく、別々の機能を持った2つの画面装置を使い、片側での操作結果を両画面に反映させるといったものでした。異なる役割の画面装置2つを並行して制御する難しさに加え、他の仕様条件やハード面での制約をいかにクリアするか、とても悩みました。でもなんとか開発に成功し、メーカーさんから「よくここまでカタチにしたね」とお褒めの言葉をいただいたときにはとても充足感を感じましたね。

責任があるから楽しみがある

現在はカーナビ開発から離れ、プロジェクトマネージャーとして、運転席に搭載されるメータのソフトウェアを開発するプロジェクトに携わっています。メータの開発はカーナビの開発とは異なる難しさがあります。僅かな狂いが事故に直結しかねないため、安全性の観点からソフトウェアの動作には高い精度が求められます。このプロジェクトは、日々多様化する要求へソフトウェアを対応させるという全社的にも非常に重要なものであり、そんな責任ある仕事を任せてもらっていることにとってもやりがいを感じています。もちろん、仕事は大変ですし、プレッシャーも感じますし、辛いこともあります。でも、それを解消するにはやっぱり仕事を成功させるのが一番だと思っているので、そういう時こそ一生懸命やって、全力でやり遂げて、スッキリするようにしています。今の会社ですか?ええ、すごく楽しいですね。

株式会社デンソークリエイティブ
プロジェクトセンター キャップ

北村 長
Kitamura, Takeru

三重県四日市市生まれ。2004年、大学院工学研究科電気電子工学 博士前期課程修了。卒業後、株式会社デンソークリエイティブに入社し自動車のソフトウェア開発に従事。

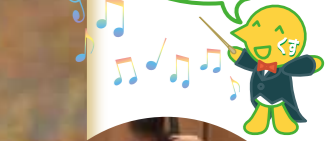


白川公園にて(愛知県名古屋市)

～学生へのメッセージ～

物事には全力で取り組みよう。全力だから想いが乗り、想いが乗るからいいものができる。私のものづくりの秘訣です。

三重大学 管弦楽団のOBとして 定期演奏会に出演しているよ



同社が開発に携ったメータの一例

★古きを守り、時代に沿った新しい農林水産業を求める

File. 32



山国からシーサイドキャンパスへ・・・ 青春は磯の香り

三重大学に入学するまでは岐阜県の山の中で過ごしていました。ですので、初めて三重県に来た時、志登茂川に架かった木造の江戸橋や企業の大きな工場に驚きました。そして海の近さゆえの独特の磯の香りがとても印象に残っています。学生時代は池田勝彦教授と谷山哲郎助教授(当時)の元で大豆の研究をしていました。実験には厳しい先生方でしたが、時には、研究室で栽培したサツマイモを焼いたり、米を炊いたりして、私達学生と一緒に食べて食べることもありました(笑)。古きよき時代ですね。

部活は(研究室の先輩に騙されて入部した)空手部に所属していました。部活と研究に追われて大変でしたが、自身の専門性を活かそうと思い、三重県職員(農業技師)としてなんとか就職することができました。

経 験と感謝の日々、自分たちの使命とは?

技師として入庁後は、農業の振興のため地域の普及所において、農家の皆さんにいわゆる「青空教室」を行うなど、農業技術の普及に努めました。その後は、環境森林部、熊野県民センターや三重テラス等での勤務を経て、現在の役職に就きました。今まで、色んな職場で沢山の人の助けられてきました。出会いを大切にしてお返しに感謝、ですね。

農林水産部は、農業、林業、水産業を所掌する部署で、それぞれの特徴も、施策も異なることに着任当初は戸惑いました。農業は基本一年単位で収穫を目指しますが、林業は成果を得るまでに80~100年を必要とします。水産業は天候によって漁獲量が左右されるなどの特徴があります。魚を捕る他に養殖や貝類・海草の採取も重要です。こうした農・林・水産、それぞれの特徴を理解したうえで、それぞれに合わせた施策を行う必要があると考えています。また、アプローチの方法や考え方は違って、「生産者の所得を増やし、安全・安心なものを安定して供給する」ことが我々の使命であり、このことを農林水産業振興の共通目的として再認識できました。そして部下には、「現場力を高めよ、現場の肌感覚を磨け」と言って、常にプロとしての意識を持つよう伝えています。

不 易 流 行

農林水産業は何千年も前から大切に受け継がれてきた重要な産業です。本質的な部分は絶対に変えてはいけない、守るべき伝統です。一方で、どんどんチャレンジして、変えていかないといけない部分もあります。実際、県内には従来の手法にとられない、アイデアを持った若い人材が、新しい農業にチャレンジしています。

そんな若い芽を守り、伸ばす環境を整備することが、これから必要なのかなと思います。担い手の不足や農林水産物価格の低迷など、日本の農林水産業は厳しい状況にあります。しかしどんな状況でも、必ず私たちができることはあります。自分で限界を作ってしまったら、そこで終わりですからね。

吉仲
繁樹

Yoshinaka, Shigeki

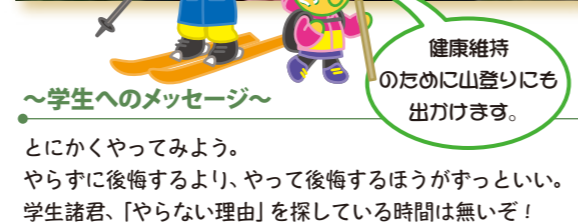
岐阜県生まれ。1980年農学部農学科を卒業し、三重県庁に入庁、農林水産部、環境森林部室長、農水商工部科学技術政策監、熊野県民センター所長等を経て2015年4月から現職。



趣味は、夏はアコ釣り、冬はスキーに出かけます。スキーバジテスト1級です。

健康維持のために山登りにも出かけます。

とにかくやってみよう。やらずに後悔するより、やって後悔するほうがずっといい。学生諸君、「やらない理由」を探している時間は無いぞ!



三重県庁舎前にて (三重県津市)

★キーワードは「ワクドキ連発カンパニー」

File. 33



関 東 へ の 挑 戦

米菓の市場自体は、ここ数年、微増か横ばい状態で、国内市場も飽和していると言われていますが、マスヤでは「これからの主戦場は関東」というスローガンを持っています。「おにぎりせんべい」を主力商品に持つマスヤは、西日本では知名度がありますが、東日本ではまだまだ知られていません。西日本の方向けの甘辛い味付けのせんべいではなく、東には東に合う味付けの新しい商品を開発しています。また、マスコットのおにぎり坊やを活用したプロモーション活動も積極的に行っています。まずは子供たちにマスヤの製品を好きになってもらい、その子供たちが10年後、20年後も食べてくれて、その美味しさをより大勢の方々に知っていただけるようになることが理想ですね。

人 材 育 成 の 3 つ の 秘 密

マスヤは国内だけでもグループ企業が5つあるので、単独企業と比べてとき、一人の社長が注げる力が5分の1にならないよう、各社毎の自主自立経営を目指し、それを支える経営幹部の育成に力を入れています。具体的には、年齢階層を3つに分けてそれぞれの役割を意識してもらいような人材育成を実践しています。Under35(35歳以下)は、一人前になってもらうための修行期間。開発・営業・生産など様々な部門を経験してもらい、総合的な力を養います。Under50(50歳以下)は身に付けた総合力を生かしてバリバリとやってもらう。Over50(50歳超)は、経営幹部としてグループの運営と、後進の指導に力を入れてもらっています。

博 士 号 を 持 つ 社 長

地域イノベーション学研究科ができた当時、大学から県の商工会議所青年部連合会に入学生募集の声がかかり、気づいたら連合会の会長をしていた私が、1期生として入学することになっていました(笑)。大学院という研究の世界にとまどいながらも、人文学部の先生方にも指導を受けて、「ファミリービジネスの永続性」をテーマに博士論文を提出し、2015年3月に学位を取得しました。マスヤグループで実践していた理念経営をベースに執筆したので、調査期間は7年ほどになります。地域イノベーション学研究科の院生として身を置く中で、地元企業には、本業を通じて地域に具体的な貢献をしていく使命があるのだと腹に落ちました。マスヤは地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)の参画企業でもあります。大学と企業、それぞれの立場を理解しながらうまく産学連携を進めていければと思っています。

浜田
吉司

Hamada, Yoshiji

株式会社マスヤグループ本社 代表取締役社長

マスヤグループ本社にて (三重県伊勢市)

三重県伊勢市生まれ。1986年慶應義塾大学経済学部卒業。野村證券投資信託委託(株)(現:野村アセットマネジメント(株))勤務などを経て、1994年に(株)マスヤ社長就任。2001年から現職。2015年三重大学大学院地域イノベーション学研究科(博士後期課程)地域イノベーション学専攻修了。

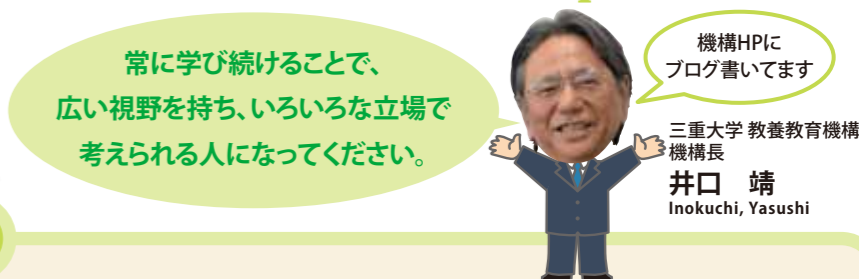


マスコットのおにぎり坊やと

～学生へのメッセージ～

現実の社会を知ってはじめて本当の自分が分かります。社会に出るための準備や研鑽の時間を大切にしてください。

特集 新しい教養教育がスタート!



三重大学では2015年4月から新しい教養教育が始まりました。「なぜ、何のために学ぶのか」を意識しながら「生きる力」を身につけることができる独自のカリキュラムです。新しい教養教育カリキュラムは、全学生が履修する「共通カリキュラム」と各学部の理念と方針に基づく「目的別カリキュラム」で構成されます。共通カリキュラムでは、グローバル化への対応力と自ら進んで学ぶ自律的・能動的学修力を修得することにより、広い視野を持ち、変化し続ける社会に対応できる人材となることを目指します。

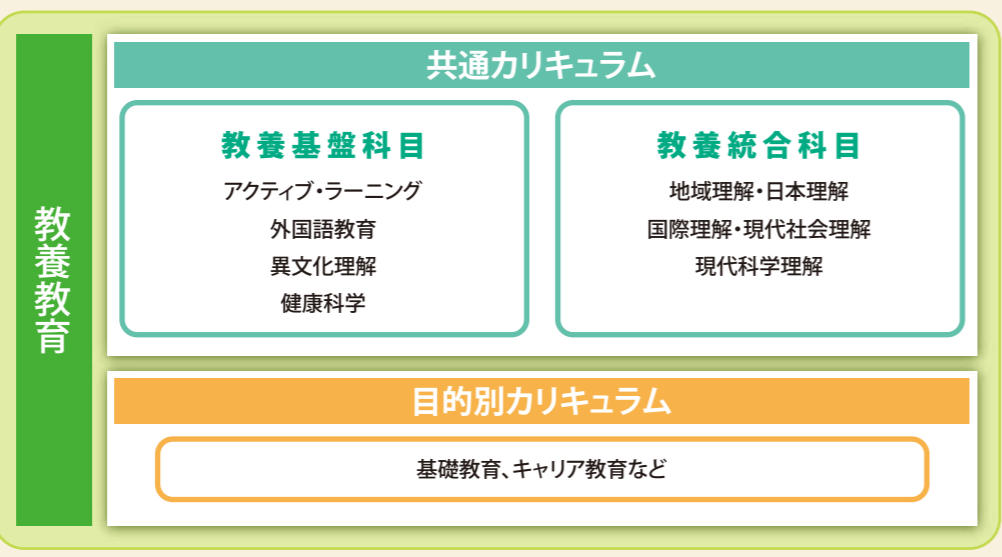
教養教育の理念と授業内容

グローバル化に対応できる人材の育成

真にグローバルな人材とは、単に外国語ができるということではなく、世界的視野で物事を考えるとともに、多様な個別文化も尊重し、理解できる眼を持つ人です。それを実現するために、入学直後に英語を集中的に学習すると同時に「異文化理解」として個別の言語や文化も学びます。さらに、教養統合科目の「地域理解・日本理解」「国際理解・現代社会理解」「現代科学理解」の領域からバランスよく履修することにより、幅広い教養に基づき、地域に根差し、世界で活躍できる人材となることを目指します。

自律的・能動的学修力の育成

社会は常に変化し続けています。卒業してからも社会の変化に対応して、自分で学び続けることが必要です。それによって、不測の事態にも対応できる社会人となることができます。このような力の育成のために、「アクティブ・ラーニング」の科目として、「スタートアップセミナー」「教養ワークショップ」を全学生が履修することになっています。



特色ある科目

外国語教育

外国語教育科目として、1年次前期に全員が集中して英語を学習します。これにより、グローバル化に対応できる力の基礎が養成され、また、自ら学び続ける習慣を身につけます。また、英語力を測るために全員がTOEIC (Test of English for International Communication) を受験することになっており、その成績上位の学生は「英語特別プログラム」に参加することができます。



英語特別プログラム

1年次のTOEICの成績上位者を対象とした、より高度な英語力を養成するカリキュラムです。通常の英語の授業以外に、ネイティブ教員による英語の授業、さらには、アクティブ・ラーニングや通常の講義科目の一部も英語で受講することにより、総合的な英語力を養成します。また、1年次の春休みに実施されるイギリスでの短期研修に参加することができ、英語実践力のさらなるステップアップを目指します。1年間で培った実践的な英語力はその後の学生生活でも、卒業後においても大いに役立つことでしょう。



アクティブ・ラーニング

アクティブ・ラーニングとは、教員が講義形式で一方的に教えるのではなく、学生が自ら進んで学ぶ指導・学習方法のことです。グループでの学習や活動がその有効な手段のひとつとされています。

スタートアップセミナー (1年次前期)

三重大学の教育目標である「4つの力(感じる力、考える力、コミュニケーション力、生きる力)」の育成を目指します。特定のテーマに基づいて、グループで問題を発見し、その解決法を議論して、結果をプレゼンテーションします。これにより、学問の基本的な方法を知るとともに、社会人として働くための技能を身につけます。この授業ではコミュニケーション力の「聞く」「話す」能力を特に向上させます。



教養ワークショップ (1年次後期)

新書(論説文)を読んで書評にまとめ、それをグループで批評しあうことによってさらに内容を高めるという、これまでに例のない新しい授業です。グループはさまざまな学部や学科の学生で編成され、分野の違いによる、ものの捉え方の違いを体感できるように工夫しています。この授業ではコミュニケーション力の「読む」「書く」能力を特に向上させます。



速報 文部科学省等支援プログラム

平成27年度 文部科学省 産学官連携支援事業委託事業

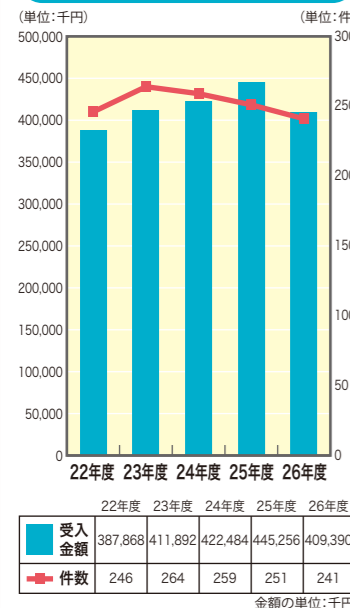
「産学官連携リスクマネジメントモデル事業 (技術流出防止マネジメント)」

平成16年度の国立大学法人化に伴い、産学官連携が推進されています。本学においても、以下のグラフや表に示すように活発な産学官連携活動が行われています。こうした活動が活発化・多様化していくなかで、大学と産業界で多様な情報・知的財産(企業情報・発明等)のやりとりが発生します。企業等との産学官連携活動をさらに

活性化していくうえで社会的信頼を失うことのないよう適切なマネジメントが必要となってきます。そのために、本事業において、本学が地域圏中規模大学のモデルになる産学官連携リスクマネジメント体制を構築し、この取り組みを全国の大学へと波及させていくことを目的としています。

本学の共同研究・受託研究の実績

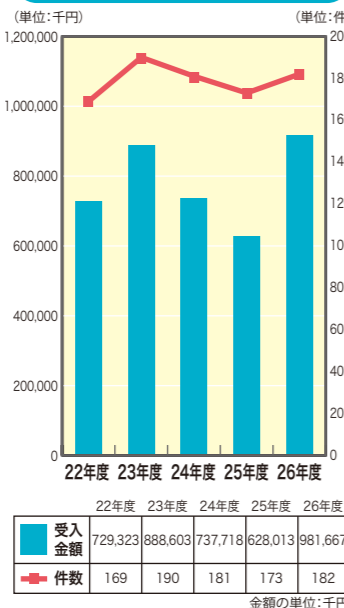
共同研究 受入金額・件数



「平成26年度民間企業との共同研究費受入金額は、全国24位」
「平成26年度民間企業との共同研究件数は、全国23位」

※大学等における産学連携等の実施状況調査(文部科学省)に基づき作成

受託研究 受入金額・件数



「平成26年度民間企業からの受託研究費受入金額は、全国29位」

金額の単位:千円

中小企業との共同研究件数

No.	機関名	件数	受入額
1	東京大学	304	877,675
2	京都大学	157	538,714
3	東北大学	148	398,144
4	九州大学	133	311,959
5	信州大学	116	117,239
6	大阪大学	111	261,187
7	岩手大学	108	68,115
8	岐阜大学	105	128,653
9	三重大学	104	66,404
10	名古屋大学	102	28,0597

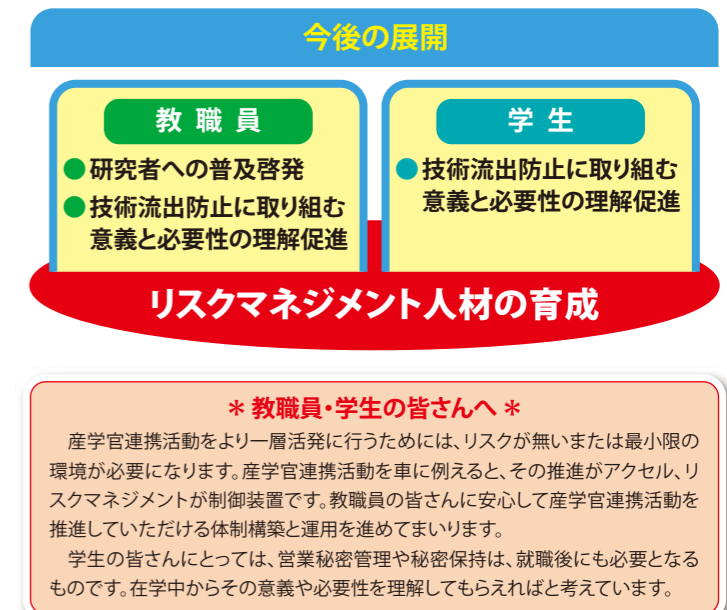
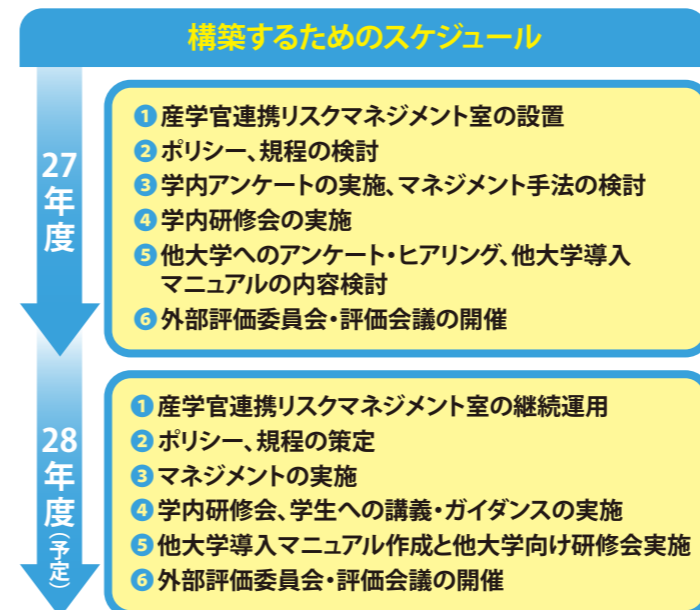
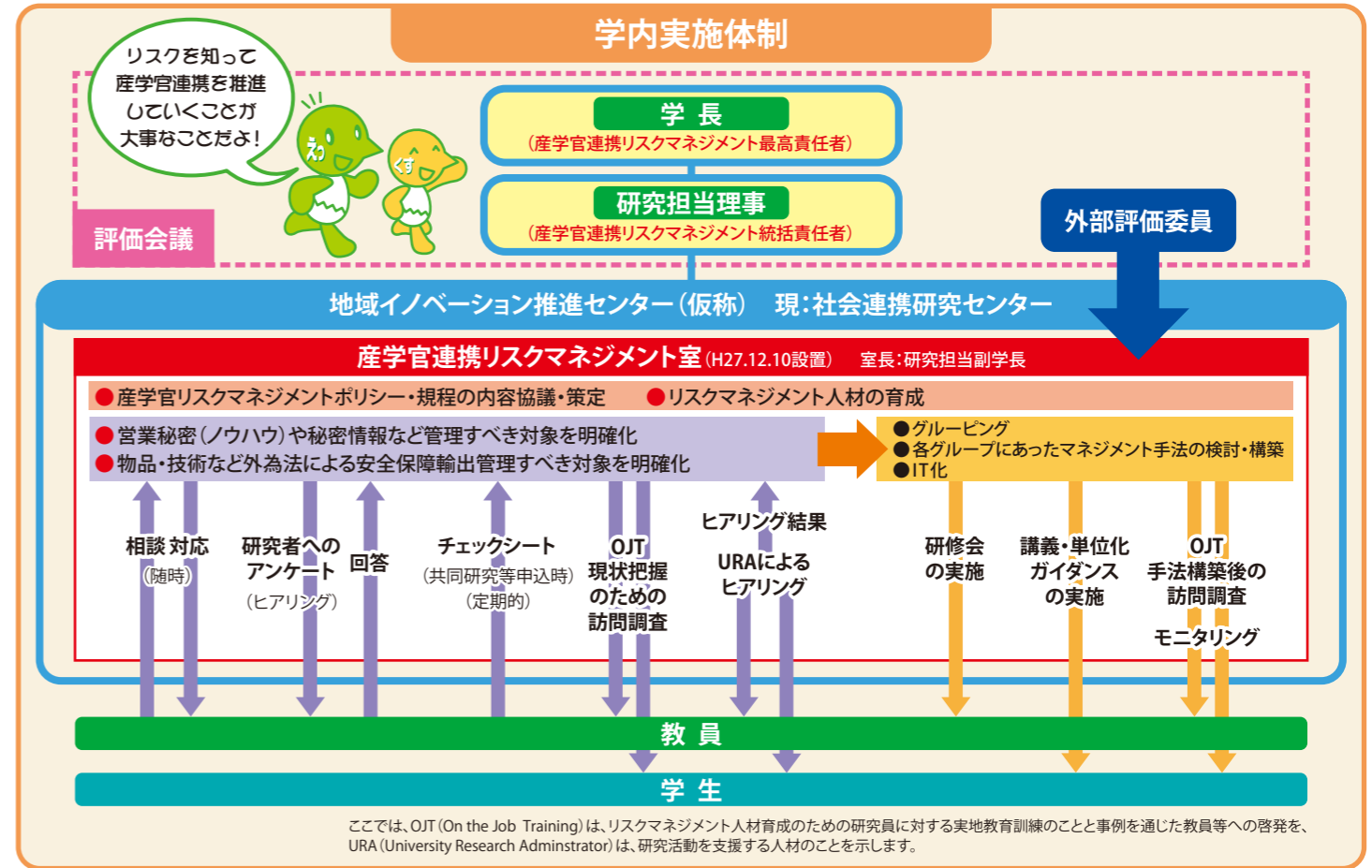
金額の単位:千円

同一県内中小企業との共同研究件数

No.	機関名	件数	受入額
1	東京大学	127	483,716
2	三重大学	70	42,468
3	岩手大学	54	33,186
4	電気通信大学	54	31,361
5	東京工業大学	53	133,532
6	東北大学	52	221,749
7	岐阜大学	51	67,643
8	茨城大学	50	7,516
9	大阪府立大学	49	33,162
10	東京農工大学	47	69,787
10	広島大学	47	48,162

金額の単位:千円

※平成26年度大学等における産学連携等実施状況について(文部科学省)より抜粋





10月1日~12月18日

三重大大学ミュージアム構想
特別企画「忍者を科学する！」

2015年4月~7月末に文部科学省情報ひろばで好評を博した企画展示「忍者を科学する！」を、三重大学内の登録有形文化財「レモンドホール」にて再度公開しました。



10月3日

第15回地域が応援する
キャリアアップセミナー

「里山における環境学習と国際交流」をテーマに、中学生、高校生、大学生の計79人が基調講演や交流学習「環境テレビ会議」、フィールドワークに参加しました。



10月10日

保護者様向け「就職活動」
についての説明会

保護者（全学部3年次生、修士1年次生対象）および学生に向けての就職説明会と学部別説明会が行われ約680人の参加がありました。



10月18日

留学生が2015津市国際交流デー
「国際屋台村」に出展

お城西公園において、本学の中国、インドネシア、ベトナムの留学生がそれぞれの国の伝統料理を振舞い、多くの方で賑わいました。



10月21日

人文学部×ドイツ・ライプチヒ大学
国際シンポジウム「教員養成の日独比較」

日・独それぞれの教員養成制度や高大連携を比較することで、人文学部文化学科での教育専門職人材養成の将来像や地域で期待される中等教育教員像についてディスカッションが行われました。



11月1日

三重大学地域貢献活動支援事業
「第4回ニシキッズのびのび親子料理教室」

廃校となった錦生小学校の有効活用と地域づくりを目的に、名張市地縁法人錦生自治協議会と共同で本教室を開催し、名張の伝統的な家庭料理である「のっぺい汁」をつくりました。



11月4日

平成27年度
第1回三重大学地震防災訓練

南海トラフ巨大地震発生を想定し、津波避難行動訓練、災害対策本部設置訓練、物資配分訓練、初期消火訓練、エレベーター内閉じ込め者救出訓練を実施しました。



11月9日~11日

教育学部附属特別支援学校の
生徒7人が校外実習

職業教育の一環として、職場での基本的なマナーやルール、仕事に対する責任感や意識を養うことを目的に、本学講堂の清掃、正門に飾られるプランターの植え替え、事務局周辺の清掃を行いました。



11月14日・15日

第13回青少年のための科学の祭典2015

子どもたちに科学の魅力を体験してもらうことを目的に、36つのブース出展が行われました。同時開催の「第9回サイエンス on ステージ」（中部電力と共催）では8つのサイエンスショーが行われ、延べ3,686人の参加がありました。



11月21日・22日

第67回三重大学祭
「津COME~青春の67騒ぎ~」

各クラブ・サークルによるステージや100を超える模擬店、手作りの水族館、学術研究発表会などが行われました。両日も天候にも恵まれ、多くの来場者で賑わいました。



11月28日

AQUA SOCIAL FES!! 2015 in 松名瀬

松名瀬干潟・海水浴場において、清掃活動を行いました。その後、環境ISO学生委員会主導で海岸に生息する植物の調査など、生物多様性について学ぶ環境学習を開催しました。



12月5日

伊賀連携フィールド
「忍者・忍術学講座 in Tokyo」

人文学部の山田雄司教授による「忍者の身体」と題した講演、古武術研究者である甲野善紀 松聲館館長による「古武術に学ぶ身体の使い方」と題した実演が行われ、実演では少しの身体の使い方の違いが大きな違いをもたらすことが示されました。



12月7日

三重大学男女共同参画フォーラム
「オール三重で取り組む男女共同参画」

三重大学及び三重県の男女共同参画に関する現状を知り、男女共同参画の先進的取り組みについて考えることを目的に、講演およびパネルディスカッション、会場の参加者との意見交換が行われました。



12月15日

林家菊丸 社会連携特任教授就任
特別落語・講演会

2015年9月1日付で、本学社会連携特任教授に就任した林家菊丸師匠による特別落語および初回講演が行われ、学生・教職員や一般の方など135人が参加しました。様々な落語家の出陣を観客席の指名に応じて即興で実演するたび、大きな拍手が起こりました。



12月16日

第12回三重大学サイエンスカフェ

「第2の地球は、本当に存在するのか?~手がかり探しの秘密兵器は!?~」と題して天文学を専門とする教育学部の伊藤信成教授から惑星の見つけ方や天体の正体をつかむ方法など、研究内容の紹介がありました。



12月18日

附属幼稚園にサンタさんが訪れました

サンタに扮した駒田学長が約140人の園児へプレゼントを贈り、園児からの歌のプレゼントがあった後、お遊戯を一緒に楽しみました。



気になるEXTRA

附属小学校でプログラミング教育を実践

ICT（通信技術）教育を充実させるための取り組みの1つとして、ロボットを動かすソフトが入った約30台のパソコンを使用したプログラミング教育を行っています。



スポット

三重のピカ1

三重県でピカッと輝く
企業を紹介します。

BANKYO スキンケア製品のアウトソーシング
万協製薬株式会社



- 名称 / 万協製薬株式会社
- 所在地 / 〒519-2179 三重県多気郡多気町仁田725-1
- 代表者 / 代表取締役社長 松浦 信男
- 事業内容 / 外用薬(クリーム剤、軟膏剤、液剤)の製造販売
- ミッション / 私達は、社業を通じて、お客様、社員、会社のそれぞれの価値を平等に尊重し、高めていくことで、社会に貢献します。私達は、社員が会社にとって最も重要な財産であるという信念に基づき、行動します。

ピカ1 企業から地元へ活力を!

会社が地元の誇り

万協製薬株式会社は1996年より神戸から現在の多気町に工場を移しました。会社ではスキンケア商品(肌に塗る医薬品、化粧品)を製造しています。これに特化した製薬メーカーは国内には数社しかありません。工場では、なるべく同サイズのチューブやポリ容器、紙箱を使えるように販売会社と対話することで製造工程の無駄を無くしたり、M-EMS(三重県の環境マネジメントシステム)を取得するなど、特徴的な取り組みをしています。

製造工程の工夫だけでなく、地元の相可高校と商品を作ったり、他の企業とイベントを開催するなど、地元へ貢献する様々な活動をしています。社員の皆さんもパワフルで、地域で開かれるイベントに積極的に参加したり、社長自ら町でイベントを開いたりもしています。多気町に住む住民の方からも「町の自慢」と言われるくらい、地元と密着した会社です。



会社の仕組みはみんなで変える!

社内の壁に貼られてある無数の紙、これらは社員さん一人一人が考えた、会社に対する意見を書いた提案書です。提案書には一つ一つ社長からのコメントが返ってくるそうで、実際に様々なアイデアが採用され会社に取り入れられています。会社では、あることに従うのではなく、常に改善するように考えることが共通意識です。三重大卒業生で入社一年目の降旗さんのお話では、前の週に教わったことが次の週には改善されて、覚え直したこともあったそうです。



社員の皆さんが提出した提案書



普段言えない感謝を伝える「ありがとうカード」



社内環境の取り組みが認められて、「平成26年度子ども家族・若者応援団表彰 内閣総理大臣表彰」をはじめ、数々の受賞実績があるよ!



栗田 レポーター

社員さん一人一人に活力があるのがとても印象的でした

第3工場のフィギュア博物館もとても魅力的でした。またプライベートでも伺いたいと思います!

ご協力いただきありがとうございます



(左右)三重大卒業生の降旗さん、山川さん、(中央)品質管理部長の楢垣さん

栗田 篤志(三重大学生物資源学部3年)

SPOT

CLUB・CIRCLE クラブ・サークル / Information クラブ・サークル

電気自動車研究会

活動は 日時 / 毎週金曜日18:00~
活動場所 / 工学部校舎電子情報棟1305室、または 社会連携研究センター1F クレーン室



電気自動車研究会は、鈴鹿サーキットで開催されるEne-1GPへの出場を目指してEV(電気自動車)を開発するモノづくりサークルです。Ene-1GPとは、人が載ったエコラン車両を、単3二次電池40本のみで走らせるモータースポーツで、鈴鹿サーキット5.8kmを3周走らせてタイムを競います。限られたエネルギーの中で、車体とドライバー合わせて80kg近くを18kmも走らせるわけですから、電池の持つエネルギーを全て引き出し、効率の良いエネルギー使用や、運転操作をはじめ様々な面での工夫が必要となります。それがEne-1GPの楽しさでもあります。なお、このサークルは26年度の国際交流プロジェクトの一環としてスタートしており、車両開発は台湾の大学生と一緒に進めました。

当初は何もわからないところからのスタートでしたので、車体には市販のキットを使用し、電気系の工学部生が多かったため、専門知識を活かして制御や駆動系を改良して出場することにしました。結果は90チーム近くが参加した中で10位という好成績をおさめることができました。

三重大は工学部のある大学でありながら、モノづくりに関するサークルが少ないように思います。工学部の学生だけでなく、モノづくりに興味のある方には是非見学に来てください!

代表 山本 優 (工学部電気電子工学科4年)
[Email] evlab.mieu@gmail.com

ギターマンドリンクラブ

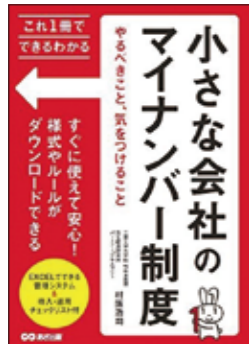
活動は 日時 / 毎週火曜日・木曜日 18:00~
活動場所 / 課外音楽練習場 練習室B



こんにちは!ギターマンドリンクラブです。皆様はマンドリンという楽器をご存知でしょうか?マンドリンという楽器は17世紀中頃イタリアで発祥した楽器で、トレモロという奏法を用いて音を持続させることが特徴的です。ギターマンドリンクラブではマンドリンの他に、マンドラテノール、マンドロンチェロ、クラシックギター、コントラバスの5種類の楽器を用いてオーケストラを奏でています。春と夏には他大学と合同演奏会を開催し、冬には定期演奏会を開催します。演奏会以外にもバーベキューやスノーボードなど楽しいイベントを毎年行っています。また夏休みには1週間ほどの合宿を行います。演奏の技術が向上するだけでなく皆の絆が深まるとも濃い1週間になります。日々の練習やこれらのイベントを通して皆仲良くなれるので楽しく部活動ができると思います!現在部員はおおよそ50名いますが、ほとんどが未経験者です。楽器の経験がない人もたくさんいます。音楽に興味がある人や、ない人もぜひ一度部室においでください。私たちと一緒に楽しく音楽を奏でましょう!

代表 稲寄 めぐみ (教育学部学校教育教員養成課程2年)
[Facebook URL] https://www.facebook.com/mie.univ.gmc.50
[Twitter URL] https://twitter.com/miegmc

本の紹介



『これ1冊でできるわかる小さな会社のマイナンバー制度 やるべきこと、気をつけること』

小さな会社のマイナンバー制度対策を、本当にやるべきことだけに絞って、解説しました手順が簡単であること、すぐにできること、人手をかける必要がないこと、そして、安全であることをポイントに、やるべきことだけをすっきりまとめました。様式等のサンプルも掲載しており、会社に合った形式にカスタマイズできるようにしています。

単著 / 村阪浩司 (工学部・特任准教授)
 定価 / 1,400円 (税抜)
 発行 / あさ出版
 頁数 / 156ページ
 ISBN / 978-4-86063-802-3



『日本の中国観Ⅱ 一比較文化学的考察一』

日本は中国をどのように見てきたのか。今、どのように見ているのか。比較文化学的に「通時的考察」と「共時的考察」を行うことによって、「脅威」「尊崇」「小中華主義」という日本の中国観のキーワードが浮かび上がってきました。

単著 / 藤田昌志 (国際交流センター・准教授)
 定価 / 2,600円 (税抜)
 発行 / 晃洋書房
 頁数 / 200ページ
 ISBN / 978-4-7710-2636-0



『自然と共同体に開かれた学び ーもうひとつの教育・もうひとつの社会ー』

学力重視の教育改革により、見えない学力が脅かされている。近代の終わりにもなう自我や共同性の変容は教育の前提を崩している。本書はこれらの危機の克服のため、自然や共同体への紐帯を結び直す教育を提唱する。

単著 / 荻原 彰 (教育学部・教授)
 定価 / 2,000円 (税抜)
 発行 / 鳥影社
 頁数 / 349ページ
 ISBN / 978-4-86265-518-9



『はじめての言語獲得 普遍文法に基づくアプローチ』

ヒトはどのようにして母語知識を獲得するのでしょうか。生成文法理論と呼ばれる言語理論は、ヒトには遺伝により生まれつき母語知識を獲得するための仕組みが備わっていると主張します。本書ではこの仮説を支持する母語獲得からの証拠をわかりやすく議論しています。

単著 / 杉崎 弘 (教養教育機構・教授)
 定価 / 2,700円 (税抜)
 発行 / 岩波書店
 頁数 / 174ページ
 ISBN / 978-4-00-005839-1



『怪異を媒介するもの』

共著 / 山田雄司 (人文学部・教授)
 定価 / 2,800円 (税抜)
 発行 / 勉誠出版
 頁数 / 296ページ
 ISBN / 978-4-585-22653-6



『明智光秀 史料で読む戦国史』

編著 / 藤田達生 (教育学部・教授)
 定価 / 4,800円 (税抜)
 発行 / 八木書店
 頁数 / 392ページ
 ISBN / 978-4-8406-2210-3



『作家/作者とは何か テキスト・教室・サブカルチャー』

編著 / 和田 崇 (教育学部・講師)
 定価 / 3,600円 (税抜)
 発行 / 和泉書院
 頁数 / 250ページ
 ISBN / 978-4-7576-0774-3



『エキスパート応用化学テキストシリーズ』機器分析』

共著 / 金子 聡 (工学研究科・教授)
 定価 / 3,000円 (税抜)
 発行 / 講談社
 頁数 / 288ページ
 ISBN / 978-4-06-156807-5



『もしも?』の図鑑 忍者修行マニュアル』

監修 / 山田雄司 (人文学部・教授)
 定価 / 1,000円 (税抜)
 発行 / 実業之日本社
 頁数 / 111ページ
 ISBN / 978-4-408-45574-7



『ワークブックで学ぶ生物学の基礎』

監訳 / 後藤 太郎 (教育学部・教授)
 訳 / 平山 大輔 (教育学部・准教授)
 定価 / 3,200円 (税抜)
 発行 / オーム社
 頁数 / 303ページ
 ISBN / 978-4-274-50585-0



『狗奴国私考』

宮崎照雄 (名誉教授・元生物資源学部教授)
 URL / <http://www.kunakoku.info/>
 制作・編集 / 梓書院

古事記、日本書紀などの日本の史書、魏志倭人伝などの中国の史書を読み、理系学者が、倭奴国・邪馬台国・狗奴国から天武王朝までを論考しました。皆さんの常識を超越した古代日本に遭遇できるでしょう。



平成27年 秋の叙勲受章者

● **瑞宝中綬章 (教育研究功勞)**
 名譽教授 (元三重大学工学部)
 澤 五郎

「瑞宝章」は
 公共的な業務に長年従事して
 功勞を積み重ねた人に
 贈られるんだよ



平成27年度 統計グラフ三重県コンクール及び全国コンクール

● 2015年10月22日

教育学部授業科目「教育学演習 / メディアリテラシーと情報表現1」(担当教員: 下村 勉)では、学習成果の一部を毎年統計グラフ三重県コンクール「パソコン統計グラフの部」に応募しています。今年度も6名が応募し、5作品が入賞、うち3作品が上位入賞(知事賞、教育長賞、入選)をはたして、全国コンクールに出品され、1作品が初めての入選を果たしました。



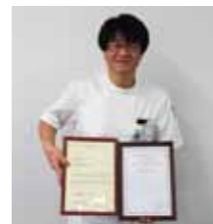
写真左より
 【入選】山村勝人 三重大学委託生(教員内地留學生)、伊勢市立有緒小学校
 【教育長賞】伊藤拓 教育学部4年
 【三重県知事賞及び全国コンクール入選】岡田久仁夫 三重大学委託生(教員内地留學生)、亀山市立井田川小学校
 担当教員 下村 勉 教授

教職員表彰

「眠っているインプラントはありませんか?」 コンゴ・ミャンマーから感謝状をいただきました (2015.11.17)

医学部附属病院 教授 笠井裕一

笠井教授は三重県内の病院・企業が所有している今後使用する予定のない医療器具をまとめ、発展途上国に寄付する活動を行っています。ベトナム、ラオス、ミャンマー、スリランカ、パキスタン、ブルンジ、ザンビア、ウガンダ、マラウイ、タンザニア、エチオピア、コンゴ共和国、ブルネイ、ボツワナの14カ国へ、合計約6000万円相当の寄付を行うことができました。



IUPAC & NMS Distinguished Award 2015 for Novel Materials and their Synthesis (2015.10.15)

工学研究科 教授 金子 聡

International Union of Pure and Applied Chemistry & Organization Committee of Novel Materials and their Synthesis (IUPAC & NMS)より、金子教授の「サスティナビリティに資する再生可能水素エネルギー生成のための新規光触媒ナノ材料の創成」の研究が表彰されました。



受賞会場(中国 河北省秦皇岛市)にて

平成27年度 日本結晶成長学会 技術賞

(2015.10.20)

地域イノベーション学研究所 教授 三宅秀人

本表彰は、技術発展の業績によって、結晶成長技術の発展と産業の振興に寄与した個人またはグループに授与されます。殺菌用紫外線LEDの開発に大きく寄与することが期待できる結晶成長技術で、産業界にも高い評価が得られていることから、今回の受賞となりました。



第21回 日韓国際環境賞 (2015.10.29)

人文学部 教授 朴 恵淑

本表彰は世界経済の「成長センター」として発展する東アジアを中心とした地域全体の環境保全と公害防止を図るため、国境を越えて活動を個人・団体を顕彰する目的で創設されたものです。朴教授のこれまでの環境活動の業績が認められ、今回の受賞となりました。



平成27年度 科学研究費助成事業審査委員の表彰 (2015.10.30)

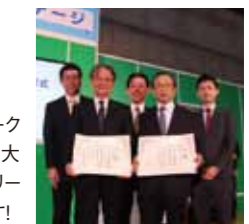
医学系研究科 准教授 及川伸二

日本学術振興会では、学術研究の振興を目的とした科学研究費助成事業(科研費)が行われています。本表彰は、審査終了後の検証結果に基づき、第2段審査(合議審査)に有意義な審査意見を付した第1段審査(書面審査)委員を選考し表彰するものです。平成27年度は約5500名の第1段審査(書面審査)委員の中から及川准教授を含む189名が表彰されました。



第17回グリーン購入大賞 「大賞」・「環境大臣賞」 (2015.12.11)

三重大学の環境活動が評価され、グリーン購入ネットワーク(GPN)が主催する「第17回グリーン購入大賞」において「大賞」・「環境大臣賞」を受賞しました。「環境大臣賞」はグリーン購入大賞の最上位賞で、大学としては初めての受賞です!



受賞会場(東京ビックサイト エコプロダクツ2015)にて

受賞者	受賞名(受賞日)
教育学部 教授 重松良祐	平成27年度 日本教育医学会賞 (2015.8.22)
教育学部 講師 栗田季佳	2015年度日本社会心理学会 出版賞 (2015.10.31)
工学研究科 准教授 松井雅樹	第56回電池討論会 電池技術委員会賞 (2015.11.12)
総合情報処理センター 准教授 杉浦徳宏	ICT推進協議会2014年度年次大会 優秀論文賞 (2015.12.3)

学生表彰

※()内は指導教員
学年は受賞当時

第五十回
東海若手セラミスト懇話会夏期セミナー
ベスト質問賞
(2015.6.26)



大学院工学研究科(博士前期課程)1年生 彦坂諒一
(富田昌弘 教授)

2015 International Colloquium
TAMIE IV
Research Award
(2015.7.1)



大学院工学研究科(博士前期課程)1年 古川真衣
(金子 聡 教授)

2015 International Colloquium
TAMIE IV
Research Award
(2015.7.1)



大学院工学研究科(博士前期課程)1年 立石一希
(勝又英之 准教授)

2015 International Colloquium
TAMIE IV
Research Award
(2015.7.1)



大学院工学研究科(博士前期課程)1年 三ツ山 智貴
(勝又英之 准教授)

第29回セルラーゼ研究会
ポスター賞 第一等
(2015.7.18)



大学院地域イノベーション学研究科(博士後期課程)3年 市川俊輔
(小林一成 教授)

The 12th International Sago symposium
Young Scientist Award
(2015.9.15-17)



大学院生物資源学研究科(博士後期課程)3年
ブルック・チュティマヌク
(後藤正和 教授)

第76回応用物理学会秋季学術講演会
「第6回JSAP PHOTO CONTEST」
優秀賞
(2015.9.16)



大学院工学研究科(博士後期課程)1年 秦野和也
(小塩 明 助教)

日本勤労青少年団体協議会
若者を考えるついで2015
努力賞
(2015.10.11)



人文学部3年 加藤瑞季
(田中亜紀子 教授)

2015 11th IUPAC International
Conference on Novel Materials and
their Synthesis (NMS-XI)
Best Poster Presentation
(2015.10.15)



大学院工学研究科(博士前期課程)1年 三ツ山 智貴
(勝又英之 准教授)

Aquaculture Europe 2015, International
Conference & Exposition
学生口頭発表部門・Best Student賞
(2015.10.23)



大学院生物資源学研究科(博士後期課程)1年
フィットリー・メイリアナワティ・プラティウィ
(神原 淳 教授)

2016年度土壌物理学大会
優秀ポスター賞
(2015.10.24)



大学院生物資源学研究科(博士前期課程)2年 岡橋卓朗
(取出伸夫 教授)

2015年度土壌物理学大会
優秀ポスター賞
(2015.10.24)



大学院生物資源学研究科(博士前期課程)2年 成毛千尋
(坂井勝 講師)

第67回日本生物工学会大会
第4回生物工学学生優秀賞(飛翔賞)
(2015.10.26)



大学院工学研究科(博士後期課程)1年 磯崎勇志
(富田昌弘 教授)

日本分析化学会中部支部
第15回高山フォーラム
優秀賞
(2015.11.14)



工学部4年 橋本果奈
(勝又英之 准教授)

2015 7th International Conference on
Emerging Trends in
Engineering & Technology
Best Paper Award
(2015.11.18-20)



工学部4年 中山拓俊
(高瀬治彦 准教授)

クラブ・サークル表彰

きゅうめい部



第1回 全国医学生
CPR選手権大会

準優勝

乳児部門

優勝

(2015.10.17)

自動車部



全日本エコドライブ
チャンピオンシップ2015
(学生自動車部の部)

準優勝

(2015.8.24)

入試チームから

2016オープンキャンパス

- 8月8日(月) 医学部 医学科
- 8月9日(火) 人文学部・医学部看護学科・生物資源学部
- 8月10日(水) 教育学部・工学部

◎内容◎ 各学部学科等紹介、入試説明、体験授業、研究室見学など
◎問い合わせ先◎ 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
三重大学学務部入試チーム / ☎059-231-9063

オープンキャンパスに関する詳細は、
本学ホームページ「入試情報」にて決まり次第お知らせします。
<PCサイト><http://www.mie-u.ac.jp/exam/>
<携帯電話サイト><http://daigakuic.jp/mie-u/>



附属学校園から

附属幼稚園 — ご報告 —

毎年恒例の餅つきを行いました。最近ではなかなか経験できなかった臼と杵を使った餅つきです。蒸しがあがったときのお米の香り、熱々の湯気の出たお米が臼の中でお餅に変わっていく様子、つき手と手返しの絶妙なコンビネーションなど、子どもたちは目をまん丸にして見入っていました。完成したお餅は、保護者ボランティアの方々に、あんこ餅、きなこ餅、菜餅にいただき、お腹も心もいっぱいの一日になりました。(2015.12.9)



附属小学校 — ご報告 —

2年生が学級園で育て収穫したさつまいもを使って、「さつまいもきんとん」を作りました。調理の際は、たくさんの学生ボランティアに協力してもらいました。子どもたちは出来上がった「さつまいもきんとん」を大切に味わいながら食べていました。(2015.12.9)



附属中学校 — ご報告 —

附属中学校の生徒4名と教員3名が中国の天津市実験中学を訪問し、授業を参観したり、日本の文化を紹介したりして交流を深めました。この交流は相互の国際理解と友好を深めることを目的に平成17年より始まり、両国の生徒・教員が隔年で訪中と来日を行っています。(2015.10.17-22)



附属特別支援学校 — ご報告 —

津市安濃中央総合公園野球場にて、毎年恒例の愛知教育大学附属特別支援学校との交流を行いました。お弁当を囲んでのにぎやかな交流、ソフトボールの試合を通しての勝負にこだわった交流、応援を通してお互いの健闘を認め合う交流を行いました。試合は、7対0で本校の勝利に終わりました。来年は愛知県にお邪魔します。(2015.10.4)



お知らせ

平成27年度 学位記授与式

◎日時◎ 平成28年3月25日(金)
◎会場◎ 三重大学講堂(三翠ホール)



平成28年度 入学式

◎日時◎ 平成28年4月8日(金)
◎会場◎ 三重大学講堂(三翠ホール)

市民開放授業

平成28年度生物資源学部特別教育プログラム
受講生募集のお知らせ

農学関連特別プログラム・森林関連特別プログラム・水産関連特別プログラムを開設しています。募集要項や申込方法等詳しくはこちらをご覧ください。

URL http://www.bio.mie-u.ac.jp/admission/undergraduate/tokubetu_2016.pdf

◎プログラム科目◎

- 農学関連特別プログラム
(前期コース) 作物学、植物保護学、園芸学、動物生産学、遺伝学、フィールドサイエンスセンター農場実習I
(後期コース) 植物育種学、園芸植物生理学、食用作物学、昆虫学、植物病理学、フィールドサイエンスセンター農場実習III
(1年コース) 作物学、植物保護学、園芸学、動物生産学、遺伝学、植物育種学、園芸植物生理学、食用作物学、昆虫学、植物病理学、フィールドサイエンスセンター農場実習I、フィールドサイエンスセンター農場実習III
●森林関連特別プログラム
(前期コース) 植物学、森林路網整備学、森林景観学、森林環境保全論、森林利用・情報学、森林植物生態学実習
(後期コース) 森林育成学、森林・緑環境評価学、応用測量学、治水砂防・森林保全学、森林・緑環境計画学、森林生物学実験
(1年コース) 植物学、森林路網整備学、森林景観学、森林環境保全論、森林利用・情報学、森林育成学、森林・緑環境評価学、応用測量学、治水砂防・森林保全学、森林・緑環境計画学、森林植物生態学実習、森林生物学実験
●水産関連特別プログラム
(前期コース) 海洋生物学、水産学総論、水族病理学、水族繁殖学、魚類学、海洋植物学実験
(後期コース) 分子生態学、海事概論、水族発生学、藻類学、浮遊生物学、水産生物学実習
(1年コース) 海洋生物学、水産学総論、水族病理学、水族繁殖学、魚類学、海洋植物学実験、分子生態学、海事概論、水族発生学、藻類学、浮遊生物学、水産生物学実習
◎開催日◎ 2016年の講義期間
◎募集定員◎ 各プログラム若干名
◎受講料◎ 入学検定料：9,800円 入学金：28,200円
授業料：1科目9,400円
前期・後期コース各56,400円
1年コース112,800円
◎受講資格◎ 学校教育法第90条第1項の規程により大学に入学することができる者で、教授会が当該プログラムを履修するに十分な学力があると認めた者。
◎受講申込受付期間◎ 前期コース：平成28年2月8日(月)～2月12日(金)
後期コース：平成28年8月1日(月)～8月5日(金)
◎問い合わせ先◎ 生物資源学研究科チーム学務担当 / ☎059-231-9735

公開講座・シンポジウムなど

●「発見塾」

◎受講料・定員◎ 無料・自由参加 ◎受講対象者◎ 市民一般
◎問い合わせ先◎ 三重大学附属図書館 ☎059-231-9032
URL http://www.lib.mie-u.ac.jp

■昭和戦前の津の暮らしと住まい

◎講師◎ 菅原洋一(工学部・教授)
◎日時◎ 平成28年1月30日(土)13:30～15:00
◎会場◎ 三重県総合博物館3F レクチャールーム

■音痴矯正と認知症の予防・改善～歌う喜びを活かす～

◎講師◎ 弓場 徹(教育学部・教授)
◎日時◎ 平成28年3月26日(土)13:30～15:00
◎会場◎ 津リージョンプラザ2階 健康教室

●三重大サイエンスカフェ(第13回)

◎講師◎ 竹村洋典(医学部・教授)
◎日時◎ 平成28年2月2日(火)15:00～17:00(14:30開場)
◎会場◎ 津駅前 伊勢門[EBIIRO]ソシアビル1F
◎受講料・定員◎ 500円ドリンク付・先着40名 ◎受講対象者◎ 市民一般
◎申込み・問い合わせ先◎ 社会連携研究センター(研究支援チーム)
☎059-231-9704 / FAX059-231-9705
E-mail : ken-sokatu@ab.mie-u.ac.jp
URL http://www.crc.mie-u.ac.jp/

●第14回三重大産産学官連携セミナーin伊賀

◎日時◎ 平成28年2月5日(金)13:30～(受付13:00～)
◎会場◎ ヒルホテル サンピア伊賀4階 白鳳の間
◎参加費◎ 無料(交流会は3,000円) ◎受講対象者◎ 市民一般
◎問い合わせ先◎ 三重大伊賀研究拠点
☎0595-41-1071 / FAX0595-41-1062
E-mail : iga-kyoten@crc.mie-u.ac.jp

●人文学部 伊賀連携フィールド2015年度後期
市民講座 忍者・忍術学講座「城と忍者」

◎会場◎ ハイピア伊賀3階 コミュニティ情報プラザホール
◎受講料・定員◎ 無料・自由参加 ◎受講対象者◎ 市民一般
◎申込み・問い合わせ先◎ 人文学部チーム総務担当 ☎059-231-9194
E-mail : hum-somu@ab.mie-u.ac.jp

■忍者と火術・火器

◎講師◎ 荒木利芳(社会連携特任教授)
◎日時◎ 平成28年2月20日(土)10:30～12:00

■忍者修行入門

◎講師◎ 川上仁一(社会連携特任教授)
◎日時◎ 平成28年3月12日(土)10:30～12:00

●家族で、みんなで、楽しく学ぼう!糖尿病
～みえ糖尿病県民公開講座～

◎日時◎ 平成28年3月21日(月・祝)13:00～16:00(12:00開場)
◎会場◎ 三重県総合文化センター(中ホール、第一ギャラリー、大会議室)
◎入場料・定員◎ 無料(一部事前申し込み優先) ◎受講対象者◎ 市民一般
◎申込方法◎ 申込フォーム、メール、往復はがき(1月中旬より募集開始予定)
◎申込み・問い合わせ先◎ みえ糖尿病県民公開講座事務局
(三重大学附属病院 糖尿病・内分泌内科)
☎059-231-5017
E-mail : info@mie-dm.net
「みえ糖尿病サポートネット」URL http://mie-dm.net/
※最新情報、お申し込みについては上記URLをご覧ください。

催し物

●三重大教育学部美術教育コースの学生(64期)による
卒業制作展

◎日時◎ 平成28年2月10日(水)～2月14日(日)
9:30～17:00(最終日のみ15:00まで)
◎会場◎ 三重県立美術館1階 県民ギャラリー
◎入場料◎ 無料
◎対象者◎ 市民一般
◎問い合わせ先◎ 卒業制作展覧会
広報担当・森田夏鈴
E-mail : mie.sotsuten@gmail.com



看護師・助産師 募集

医学部附属病院では看護師・助産師の募集を随時行っています。
大学病院で働いてみたい、病院を見て色々知りたいと思われた方は、
お気軽に連絡ください。あなたの笑顔をお待ちしています。

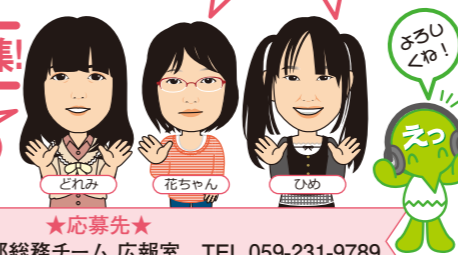
いっしょに働こう!
[お問い合わせは]
三重大学医学部附属病院看護部
☎059-231-5183 又は ☎059-231-5184

F M 三重で放送中!!

●～学生の企画するFMラジオ番組～
「Campus CUBE」
毎週金曜日20:30～20:55に放送中です!

パーソナリティー募集!

対象は三重大生です!
ぜひご応募ください!



★応募先★
三重大学企画総務部総務チーム 広報室 TEL 059-231-9789

三重テレビ放送で放送中!!

きらめき☆三重大学!

三重大の学生が、本学の魅力を紹介します。

今後の放送日
(予定)
時間はいずれも12:00～12:30
2016年 1月26日(火)
2月23日(火)
3月22日(火)

再放送は当日の17:00～17:30
及び翌日の7:00～7:30です。
(三重テレビ第2チャンネル)



三重大の
テレビ番組
だよ!
MTU
三重テレビ放送
第1チャンネル(071)

メールマガジンのご案内

三重大では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを
配信しています(発行:毎月1回)。各種イベント、教育・研究活動上のトピックス
など、「三重大」に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご
意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

皆様のご登録を心からお待ちしています。

配信お申込み方法
次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。
1.メールのタイトルは「メールマガジン希望」と記入してください。
2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。
①「一般」もしくは、「三重大生(保護者)」 ②お住いの都道府県
koho.m-maga@ab.mie-u.ac.jp
できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、
受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただくことになります。

三重大学公式SNS
(Facebook, Twitter)を始めました!

Facebook: 三重大学ホームページからアイコンをクリック!
Twitter: 「@MieUniversity」で検索!
YouTube: YouTubeサイト内で「mieuniversityweb」と検索!

編集後記 vol.6

魯迅博物館は、北京市内の胡同の一角にあります。1930年代、上海の内山書店を通じて輸入した書籍類は、日本では発禁処分になっていたものばかり。今も遺る魯迅の蔵書は、日中交流の大切な歴史を証言しています。(天高地厚)



青天のへきれき…。この1月に広報室を離れて別の部署に異動となりました。この5年間、たくさんの思い出をいただき、最後の取材では、シャッターを切る度に涙がこぼれそうになりました。今までありがとうございます。「三重大X」永遠なれ。(プカプカ)



えっくす冬号の編集は年末年始を挟みます。休みもあるけど仕事も多い時期。もちろん取材先も同様なので、実は夏号より編集が大変だったり。さあ、新たな1年のスタートです!(いちかわ)



今号の0B・0G特集では、人生初のインタビューを経験しました。口下手な私にとっては、ハードルの高い仕事でしたが、卒業生の方々に助けられ当時の懐かしいお話もたくさん聞かせていただきました。ありがとうございます。申年も頑張ります。(ともぞー)



去年のビッグイベントはフランスへ行っただけです。1週間程度だけアップされたトリコロールカラーのエッフェル塔を写真に収めました。広大な麦畑や牧場、セーヌ川に歴史の深さを感じながら癒された旅となりました今年フランス語を勉強するぞ!(w)(w)(きゃららいん)



えっくすでの私の仕事はわずかですが、今回もお手伝いでき、また新たな1年を迎える事を嬉しく思います。昨年は個人的に多忙でしたが、今年は落ち着いて1つ1つ丁寧に仕事をこなしていこうと思います。(nico)



今号はCOC+をはじめとした地方創生をテーマに作成しました。大学の使命である教育、研究、そして今回は「地域貢献」について、読者の皆様を知っていただければ幸いです。今年もサル年ということで、写真は長野県上高地の野生のサルです。(sumi)

2016年の干支は申(サル)
猿は木の上を飛び回り、とても活発な印象を持つ動物です。申年生まれの人1人いると場が明るくなり、悪い空気を変えられるポジティブなムードになるそうです。あなたの周りに申年生まれの方は?(北の大地)

アンケートに答えて…

三重大大学オリジナルグッズをもらおう!!

「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。平成28年3月31日(木)(当日消印有効)までにアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で5名に「三重大大学ブランド商品詰め合わせ(三重大大学カレー2箱、三重大大学[欧風]ジビエカレー1箱、チェンミ・コーヒー1箱、三重大大学学長飴1袋)」を、50名に「えっくすくんわくわくシャーペン」をお送りします。どしどしお寄せください。*当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

→「三重大大学ブランド商品詰め合わせ」、「えっくすくんわくわくシャーペン」をご希望の方は、巻末の綴り込みはがきにご感想等必要事項をご記入の上ご投函ください。



放送大学 4月入学生募集

1科目から学べます。
1科目11,000円(教材費を含む)から
入学試験はありません。
テレビ・ラジオ・インターネットで学べます

【4月入学出願期間】
第1段階募集
平成27年12月1日(火)~平成28年2月29日(月)
第2段階募集
平成28年3月1日(火)~平成28年3月20日(日)

放送大学三重学習センター
〒514-0061 三重県津市一身田上津藤田1234
TEL:059-233-1170 FAX:059-233-1179

www.ouj.ac.jp
0120-864-600

artopia co., ltd.

●ロゴタイプ・シンボルマーク ●会社案内等各種パンフレット
●キャラクター ●ポスター、DM、チラシ等の企画・制作

有限会社 アートピア
三重県津市一身田平野182-60 〒514-0111
TEL:059-232-3559 FAX:059-232-0506 E-mail:artopia@zvtv.ne.jp

第2回 伊勢志摩サミットフォーラム

1月16日に鈴鹿市にて開催される「第2回伊勢志摩サミットフォーラム」の様相を録画でお届けします。

<放送日時>
1月27日(水) 20:00~20:55
1月30日(土) 12:00~12:55 (再)

ええじゃないが。

堀口文宏(あさりど)と萩美香が「おかげ旅行社」のツアープランナーとなって「ええ旅プラン」をプロデュース!

毎週月曜日 19:00~19:55
毎週土曜日 12:00~12:55(再)

きらめき 三重大大学!

毎月第4火曜日 12:00~12:30

三重の力を世界へ!教育・研究・医療・地域貢献など、さまざまな分野に全力で取り組む三重大大学の「今」を熱くお伝えします!

※放送日時是一部変更となる場合があります。

三重テレビ放送



三重大大学院工学研究科教授 菅原洋一

所々で街道に交錯するのは三岐鉄道。社名は三重県と岐阜県関ヶ原の連絡を意味しています。とりわけ、藤原岳の石灰で製造したセメントの輸送の役割を担って、昭和6年に開業しました。

やがて、右手の畑地の向こうに、養老の山並みが迫ってきます。山容は鈴鹿の山並に比べて格段に穏やかです。山口、篠立、古田と細い谷筋の村を辿っていくと、家並は途切れ、やがて伊勢と美濃の国境です。上石津の町を経て関ヶ原はもう一息です。

亀山からの巡見街道は、やがて菟野の町に入ります。町は東西に長く、その中ほど、札の辻であった郵便局のあたりで、湯の山への街道と分岐し、北を向いて進みます。やがて千草の集落の中ほどに「両宮奉燈」と刻まれた大きな常夜灯が見えてきます。千草は花崗岩の産地で、地元の石工と石材で明治二五年に建立されました。この先、山岳信仰の拠点となり、多くの僧兵を擁していた三嶽寺を左手に見て進みます。街道の左手には高く低く鈴鹿の山並が連なり、その彼方は近江です。

朝明川など、幾つかの川を越えようと田光。近江と北伊勢を繋ぐ八風街道が、巡見街道と交差する重要な集落です。札の辻に面する広場には高札も掲げられ、市が催されていました。道沿いの石積が見事なのは近在の石工のお陰でしょうか。巡見街道は全体に、路傍の石積や常夜灯、道標、地藏堂が印象に残る街道です。



三重大大学企画総務部総務チーム広報室

〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL 059-231-9789 / FAX 059-231-9000
ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>
E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp

●本誌お問い合わせ先 ●
●広告掲載のご依頼 ●

三重大X[えっくす] vol.35
平成28年1月発行
●発行/三重大大学広報委員会
●編集/三重大大学企画総務部総務チーム広報室
●印刷/有限会社アートピア artopia@zvtv.ne.jp
◎禁無断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。

平成28年度
大学入試センター試験
平成28年1月16日(土)・17日(日)

本学の一般入試は、学部・学科・課程等の入学定員を分割し、「前期日程」及び「後期日程」により入学者を募集する「分離分割方式」で実施します。

人文学部・教育学部・医学部・工学部・生物資源学部

	実施日程	
	前期日程	後期日程
出願期間 (郵送に限ります)	平成28年1月25日(月)～2月3日(水) (必着)	
個別学力検査等の日程	平成28年2月25日(木) (医学部は2月26日(金)も実施)	平成28年3月12日(土)
合格者発表	平成28年3月8日(火) 午前10時頃	平成28年3月23日(水) 午前10時頃

- 「三重大学学生募集要項(一般入試)」は、本学学務部入試チームにて配付しています。
- 「三重大学学生募集要項(一般入試)」の請求方法など入学試験に関することは、本学ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/exam/> 「入試情報」をご覧ください。〈TEL.059-231-9063(学務部入試チーム)〉

携帯電話サイト

募集要項等の請求方法、志願状況速報などの各種情報を携帯電話にて閲覧することができます。

アドレス <http://daigakujc.jp/mie-u/>

QRコード→



※対応する携帯電話で読み取ることができます。

入試情報

平成28年度
三重大
個別学力検査



交通のご案内

- 近鉄江戸橋(三重大前)駅から徒歩約15分
- 津駅からタクシーで約10分
- 津駅前バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅前」(06系統)、「太陽の街」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「三重大前」下車。
- 中部国際空港(セントレア)から津エアポートラインで津なぎさまちへ45分
 1. 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
 2. 津なぎさまちからタクシーで三重大まで約15分



〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
TEL059-232-1211(代)
<http://www.mie-u.ac.jp/>



お願い
三重大学振興基金へのご協力をお願いします

三重大学の目的・使命を達成する一助となることを目的に「三重大学振興基金」を設立しました。次の事業を計画しておりますので、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

- ◎ 学生への奨学金及び災害時の学資援助事業
- ◎ 学生の修学環境整備事業
- ◎ 学生・教職員の海外留学その他国際交流活動等への支援事業
- ◎ 地域貢献支援事業
- ◎ その他本学の目的達成に必要な事業

● 募金の方法 ● 三重大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、必須事項をご記入の上ご郵送ください。(FAX・E-mailでもOKです)。

● ご郵送先・お問い合わせ先 ●

三重大学振興基金事務局
【企画総務部総務チーム内】

〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000
E-mail: kikin@ab.mie-u.ac.jp
URL: <http://www.mie-u.ac.jp/foundation/>